

子どもをこころよく育てよう

わが子がすくすく育つように！

しつけとは、親の愛情を伝える方法です。しつけには、子どもの成長に悪い影響を与えるものと、良い影響を与えるものがあります。

叩いたり、怒鳴ったりといった罰を与えるしつけは、子どもにしてはいけないことを伝えるというよりも、親は怖いと言った恐怖心を与えてしまっています。上手な叱り方のヒントは、「叱られる側」の子ども立場になって考えることです。「どう言われたら子どもはどのくらい感じるだろうか」「子どもはどのくらい受けとめるだろうか」、まずここから考えてみましょう。

親子関係が悪くならないために

① まずは自分が落ち着きまわろう

怒鳴ったり叱ったり状況が続いていると、親も疲れてしまいます。



② 子どもの行動を分析してあげよう

子どもの行動のみに注目するのでなく、どのような状況で起こったのか、一連の行動のつながりに注目しましょう。



③ 具体的に何が悪いのかを言葉で伝えてあげよう



子育ては一人で行うものではありません。困った時には、一人で抱え込まずに相談しましょう。

通告・相談先
♥子ども家庭相談課 ☎(25) 8517 または市内各保健センター
♥虐待ホットライン (24時間対応) ☎077(562) 8996 中央子ども家庭相談センター内にあります。

市美展 & 青美展 開催!

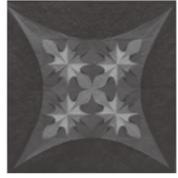
市民芸術が一堂に1600点!

11月22日(金)から26日(火)まで、新旭体育館を会場に、第9回高島市美術展覧会と青少年美術展覧会を同時開催しました。

会場には、合計1,693点もの作品が集まり、5日間で4,269人の方々にご鑑賞いただきました。

市美術展覧会の出品280点の中から高島市美術展賞(最優秀賞)を受賞された作品をご紹介します。受賞された皆さん、おめでとうございます。

これらの作品は、市ホームページに掲載していますので、ご覧ください。



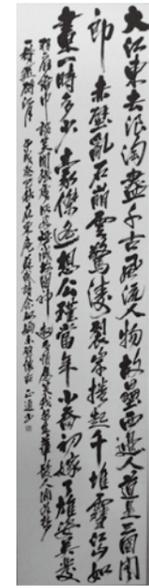
●工芸の部 「corona」 千野 久子



●平面の部 「出番待ち」 八田 祥朱



●写真の部 「京都駅夕景」 講殿 和夫



●書の部 「蘇軾詩(念奴嬌)」 白井 正通

第11回定例会報告 11月25日開催

- 協議・報告事項
 - ・高島市小中一貫教育実施要領の制定について
 - ・平成25年度12月補正予算にかかる予算要求概要について
 - ・学校規模適正化基本方針案についての意見聴取経過について
 - ・平成25年度第2回ストップいじめ対策会議について
 - ・平成26年3月中学校卒業予定者の第1次進路志望調査について
 - ・「大溝の水辺景観」保存計画案にかかる中間報告について
 - ・平成26年高島市成人式について
 - ・2013びわ湖高島栗マラソンの結果について

いじめをしない・させない・見逃さない ②②

いじめを未然に防ぐ 「命を大切にする講演会」



11月8日(金)に、今津東小、今津北小、今津西小、高島小が共同で、いじめ未然防止を目的とした「命を大切にする講演会」を開催しました。

講演会では、平成6年に同級生4人から受けていたいじめを苦にして、自ら命を絶った大河内清輝さん(当時 中学2年生)のお父さん・大河内祥晴さんのお話を聞きました。

「清輝が服を汚して帰ってくることもあったのに、私は気づいてあげられなかった。清輝に対しては、“ああすればよかった、こうすればよかった”という思いがいっぱいで。」と、涙ながらに話し始められました。大河内さん夫婦は清輝さんが自殺した後、いじめに苦しんでいる子どもたちに向けて、メディアを通してさまざまなメッセージを送られたそうです。すると、全国の子どもたちから反響があり、驚くほど多くの手紙が寄せられました。その中のいくつかを紹介していただきました。「大人には知られたくない、心配をかけたくないというもあるけれど、はずかしいというのが一番です」という手紙の内容に心が痛みました。大河内さんの講演を聞いた子ども達は、人の生命を奪うこともある「いじめ」を「しない、させない、許さない」ということを改めて心に刻みました。

児童の意見

人を傷つける・悲しませることは、いじめに値するんだと思いました。いじめを無くすためには、身近なことから直すべきだと思いました。そして、一人ひとりが気をつければ、学校からいじめが消えると思います。

この話を聞いて、私もいじめやけんかをなくしたいと思いました。でも、それは、みんながそう思わないとできないなとも思いました。みんながその気になれば、学校からいじめがなくなると思います。

このコーナーに対するご意見等は、高島市教育委員会事務局教育総務課 ☎(32) 1132 までお気軽にお問い合わせください